

**製品名: GNA13 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85591**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GNA13
別名	guanine nucleotide binding protein (G protein); alpha 13; G13
遺伝子 ID	10672.0
SwissProt ID	Q14344
免疫原	ヒト G タンパク質 α13 の合成ペプチド

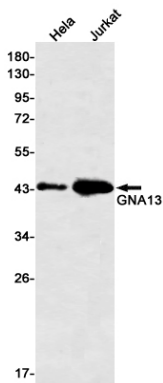
**背景**

グアニンヌクレオチド結合タンパク質（G タンパク質）は、様々な膜貫通シグナル伝達系において、調節因子またはトランスデュー

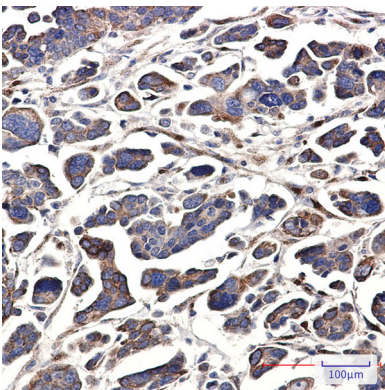
サ　ー　と　し　て　関　与　し　て　い　ま　す  
( PubMed:15240885 、 PubMed:16787920 、 PubMed:16705036 、 PubMed:27084452 ) 。 RhoGEF ( ARHGEF1/  
p115RhoGEF、ARHGEF11/PDZ-RhoGEF、および ARHGEF12/LARG) に結合して活性化することにより、エフェクター分子 RhoA  
を活性化します (PubMed:15240885、PubMed:12515866) 。 GNA13 依存性 Rho シグナル伝達は、その後、転写因子 AP-1 (活性  
化タンパク質-1) を制御します。 RhoA/ROCK シグナル伝達経路を活性化することにより、腫瘍細胞の浸潤および転移を促進する  
(PubMed:16787920、PubMed:16705036、PubMed:27084452) 。 Rho 活性化とは独立して、CDH1 を介した細胞接着を阻害す  
る (PubMed:11976333) 。

## 研究分野

## 画像データ



GNA13 抗体を使用した HeLa、Jurkat 溶解物中の GNA13 [KO 検証済み] のウェスタン  
ブロット分析。



G タンパク質アルファ 13 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学分析  
抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。